

# 令和3年度 一人一人の確かな学力のために

# 6年

	学年の目標	1学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをもち、伝えられる児童を目指します。そのために、自分の考えをノートに記録する時間を確保してから伝える時間とったり、小グループでの話し合い活動を行ったります。また、大人数の前で理由や根拠を添えて話せるように指導します。</li> <li>日常生活にも気を配り、相手や目的に応じて書いたり、話したりすることができるように指導します。</li> <li>漢字の定着を図るために、ミニテストを週1回程度実施し、間違い直しをする習慣を身に付けさせます。50問テストでは、90点を合格として、合格できるよう自分の学習方法を身に付けられるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍でも可能な限り、小グループでの話し合い活動を行っています。小グループでの話し合い活動では、自分の考えをしっかりと話することができます。パネルディスカッションをした際には、しっかりと準備をして、資料を提示しながらクラスで理由や根拠を添えて発表することができました。</li> <li>相手や目的に応じて書くことができる児童が7割程度です。話すことになると5割程度の児童ができています。接続詞を正しく使用し、筋道を立てて分かりやすく表現できるようにしていきます。さらに、敬語を正しく使えるように指導していきます。</li> <li>漢字のミニテストに向けてどのように取り組めば合格できるかを考え、自分なりの方法で練習に取り組むとする児童が7割程度です。まとめの50問テストの平均点は8割でした。1回目で90点以上の合格点を獲得できる児童は、6割程度でした。学習方法についても、小テスト同様に自分に合った方法を見つけられるように指導していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小グループでの話し合い活動では、9割以上の児童が自分の考えを話すことができます。大人数の前では、積極的に話すことのできる児童は、1割程度ですが、必要があれば、7割程度の児童が理由や根拠を添えて話すことができます。</li> <li>相手や目的に応じて文章を書いたり作品を作ったりすることができる児童が9割程度です。話すことになると5割程度の児童ができています。敬語を正しく使うことができる児童は、8割程度です。</li> <li>漢字のミニテストに向けてどのように取り組めば合格できるかを考え自分なりの方法で練習に取り組むことができるようになりました。3学期は、まだまとめの50問テストを行っていませんが、90点以上の合格点を採るための自分の学習方法の発見や改善ができるよう引き続き指導します。</li> </ul>
基礎・基本 算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を解決をしながら、学習内容を身に付けられるようにします。既習事項を確認したり、解決の方法をみんなで考えたりしてから取り組ませることで、自力で解決できるように指導し、理解が深まるようにします。</li> <li>学習した内容の定着を目指します。毎日の宿題で当日の学習内容の計算ドリルを出し復習の習慣を付けます。また、テスト前に苦手な問題に取り組みむよう声を掛けます。</li> <li>ワークテストや練習問題で、間違えた原因を考え、再度問題に取り組みんで解決し、学習内容を確実に習得できるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の方法について子供たちは見直しをもって学習に取り組みむことができます。また、授業の前に既習事項を確認してから問題把握することで、自力解決することができる児童が7割程度います。自力解決できない児童についても友達や解説を聞いて、ノートに自分なりにまとめを書いて理解しようと努力しています。</li> <li>90%以上の児童が宿題の計算ドリルを活用し、繰り返し練習に取り組みむことができます。また、タブレットを活用し、自分の課題に合った問題に取り組みむ児童が5割程度います。文章問題の場面になると、読み取りを間違えて正しく立式できない場面があるので、学習過程において読解の方法についても指導していきます。</li> <li>間違えた原因を追究し、再度問題に取り組み解決している児童は、3割程度です。計算式を残し、原因の追及ができるようにしていきます。また、取り組む児童が増えるよう引き続き声を掛けていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3学期の学習内容は、6年間の復習でした。改めて学習することで忘れていたことを思い出せたり、分からなかった内容が改めて理解することができました。同時に、それぞれの児童の課題も明確になりました。授業中に復習の時間を確保し、自主学習等でその内容を復習する児童が増えました。</li> <li>ほぼ10割の児童が宿題で計算ドリルを活用し、繰り返し練習に取り組みむことができます。自主学習やテスト前に苦手な問題に取り組みむことができる児童は、6割程度です。タブレット端末を活用して継続して取り組んでいる児童もいます。</li> <li>間違えた原因を追究し、引き続き再度問題に取り組み解決している児童は、3割程度で、力を伸ばしています。間違えた問題に取り組み解決し、繰り返し取り組むことの大切さを伝えていきます。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書に親しみ、6学年の読書目標10000ページを達成できる児童を目指します。そのために、いつも手元にマイブックを持ち、朝読書の時間だけでなく、隙間の時間に読書に取り組みめるようにします。</li> <li>プレゼンテーションソフトや画像編集ソフトを活用して、資料を作成する方法を指導します。全員が効果的な発表のために必要な資料を自分で作成できるようにします。</li> <li>タブレット端末を活用し、e-ライブラリを活用した基礎学力の定着を図ったり、協働学習に活用したりします。</li> <li>ふるさと学習を通して日本の伝統の良さを知り、地域愛を深められるようにします。</li> <li>SDGsの学習を通して、教科の内容と照らし合わせながら多角的な視点で考えることができるようになります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手元にマイブックを持ち、読書に親しんでいます10000ページ達成に向けて、1か月1000ページのペースで読んでいます。7月末の時点で4000ページ前後貯金している児童は、4割程度です。読書をしていても記録できていない児童がいるので引き続き声を掛けます。</li> <li>自分の意見を主張する際に、個人やグループでプレゼンテーションソフトを活用し、作品を作って伝えたり、目的に応じて画像編集ソフトを活用して映像を作成したりする力を付けました。今後はタブレットやパソコン等を活用し、自分の考えを伝える場面を設けていきます。</li> <li>3学期のふるさと学習に向けて、つりしのぶに興味をもてるように単元構成を考えていきます。</li> <li>他教科で学習したこととSDGsの視点を関係付けて考えようとする児童が増えました。今後自分ごととして捉え、解決について考えていけるように時事問題等についても取り上げていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手元にマイブックを持ち、読書に親しんでいます。2学期同様読書の興味の範囲が広がり、伝記を読んだり自分の将来に関する本を読んだりしています。2月現在で10000ページを達成することができた児童は、5割程度です。学校では、一日平均20分程度読書に取り組んでいます。ご家庭でも読書の時間を1日20分程度確保するようお声掛けをお願いいたします。</li> <li>自分の意見を主張する際に、プレゼンテーションソフトを効果的に活用して伝えたり、目的に応じて画像編集ソフトを活用して映像を作成したりする力を付けました。タブレットだけでなく、パソコンも上手に使えるように指導していきます。</li> <li>ふるさと学習を通して、地域の伝統工芸への関心を深めていました。</li> <li>他教科とSDGsの目標を関連付けて授業を行い、SDGsの目標は様々なところで共通の目標だと感じることができていました。</li> </ul>
思考力・判断力	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味・関心をもったことや学習内容に関係あることを自分の力で調べ解決できる児童を目指します。そのために、読書科や総合的な学習の時間を中心に調べ学習などの探究活動を行います。</li> <li>自ら課題を見出し、見直しをもって解決することのできる児童を目指します。そのために、授業の始めにめあてを明確にします。また、授業の最後には、まとめ、感想を書いて振り返ることで、自分の達成度を確認したり、次時の課題をもったりする時間を確保します。</li> <li>自分の考えをもち、友達の意見を聞いて、考えを広めたり、深めたりすることができるようにします。そのために自分の考えをもたせてから話し合いを行うようにします。また、友達の意見を聞いて考えが変わったり、友達の意見に付け加えて話している児童を称賛し、児童がお互いに学び合う力が身に付くようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を探し、必要な内容を記録する、まとめるなど調べ学習の基礎基本が身に付いており、読書科や社会科、理科、総合的な学習の時間などに活用できています。また、参考文献について示すこともできています。</li> <li>めあてや課題について予想や仮説を立てることで、児童は見直しをもって学習に取り組みむことができます。授業の終わりには、学習内容について自分の言葉でまとめることができています。今後は次時の課題をもつことができるよう工夫していきます。</li> <li>話し合いでは、友達の意見を受けて関連させて話すことができる児童が増えています。また、友達の意見と自分の意見を比較しながら考えを深められている児童も6割程度います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を探し、必要な内容を記録する、まとめるなど調べ学習の基礎基本が身に付いています。</li> <li>めあてを明確にした授業を行い、児童は見直しをもって学習に取り組みむことができます。授業の終わりには、振り返りを行うことで、自分の達成度や課題を振り返ることができています。さらに、学習方法や自分の思考の過程も振り返ることで学び方が身に付くよう指導を続けます。ご家庭でも悩んでいる様子がありませんら、お声掛けをお願いします。</li> <li>話し合いでは、友達の意見を受けて関連させて話すことができます。また、友達の意見と自分の意見を比較しながら考えを深められている児童が7割程度になりました。</li> </ul>
学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項の定着を目指します。そのために、毎日の家庭学習90分(15分×6年生)では、漢字・音読・読書・算数・自主学習等に取り組みます。自主学習では、自己の課題を見つけ取り組みむことができることようになることを目指します。そのために、課題について相談したり、模範になる児童の取り組みやノートを掲示したり、「鹿骨東小家庭学習の手引き」を活用したりして指導します。</li> <li>相手に伝えるように話すことができる児童を目指します。声の大きさや話すスピード、表情などを意識して話すことができるよう繰り返し指導していきます。また、話すこと・聞くことの大切さを意識化させるために、聞いている人の方を向いて話すこと、相手の話を受けて話すこと、話している人の方を向いて聞いたりメモを取りながら聞いたりすることを指導していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習期間では、8割の児童が90分以上学習に取り組みめたという評価をしていました。自主学習の内容も繰り返しドリルに取り組んだり、授業の復習や英単語の練習、調べ学習など工夫しています。児童が取り組んでいる自主学習ノートをクラスでも広め、自分に合った学習が取り組みめるように声掛けを続けていきます。</li> <li>相手に伝える声の大きさが出せるよう繰り返し指導しています。コロナ禍で大きな声を出す機会が少なかったり、出しづらかったりしますが必要な時に出来るよう指導を続けていきます。</li> <li>友達の発表を聞いて、必要な内容を簡潔にメモを取りながら理解できる児童は7割程度です。話を聞くときも目的意識をもって聞くことができるようにしていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習期間では、9割以上の児童が90分以下の学習に取り組みめたという評価をしていました。自主学習の内容を工夫して取り組む(テストの復習や調べ学習など)ことができている児童は7割程度です。3割の児童には、引き続き内容の相談に乗り、自分に必要な学習に取り組みむことができるよう指導を続けます。ご家庭でも悩んでいる様子がありませんら、お声掛けをお願いします。</li> <li>相手に伝える声の大きさが出せるよう繰り返し指導しています。コロナ禍で大きな声を出す機会が少なかったり、出しづらかったりしますが必要な時に出来るよう指導を続けています。即座に自分の考えを伝える時には、どうしても声小さくなってしまいう児童が多いですが、原稿があるものや教科書の内容等繰り返し練習したもものについては、9割以上の児童が堂々と話すことができます。</li> <li>発表を聞きながらメモを上手にとれるようになってきました。日光移動教室では、話し手をみたり、目的意識をもって聞いたりすることができていました。</li> </ul>